

令和5年度 第1回伊勢崎市多文化共生キーパーソン会議

会議録

開催日時 令和5年5月10日(水) 午後6時30分～午後8時10分

開催場所 伊勢崎市役所東館5階第2会議室

参加者

- ・キーパーソン 【5名】：相沢 正雄さん(ペルー)、朝倉 平さん(ベトナム)
本堂 晴生さん(日本)、山本 雄次さん(ベトナム)
若林ヤスイスエリさん(ブラジル)
- ・事務局(国際課)【4名】：国際課長、国際化係長、事務局職員2名

1 開会・あいさつ

2 意見交換

(1)「昨年度の活動の振り返り」

<事務局>

・「多文化共生キーパーソンからの意見 実施に向けて」の資料を見ていただきたい。この資料は昨年度の会議で皆さんからいただいた意見をもとに実施に向けて作成した資料である。番号1で「みんなでつくろう伊勢崎市多文化共生のまちづくり」リーフレットを作成した。新聞に掲載をされ、注目されている。配布実績としては、要望のあった自治体や区長、市内の市立幼稚園小中学校の先生向けに合計約400部配った。また、国際交流協会のフェイスブックにリーフレットの記事を投稿したので、皆さんに拡散していただきたい。今後は、国際交流協会の日本語教室や外国人が多く在籍している企業に配布を予定している。更なる活用のため、キーパーソンの皆さんに配布をしていただきたいと考えているが、よろしいか。また、その他アイデアがあれば伺いたい。

<キーパーソン全員>

・よろしい。

<キーパーソン>

・先生に配布したことはよいと思う。質問だが、ブラジル人向けの保育園に配布できるか。保育園に置いておけば親が手に取るし、園児が帰る際にリーフレットをカバンに入れてもらうのはどうか。

<事務局>

- ・検討する。現在は、市立の幼稚園小中学校への配布にとどまっている。

<キーパーソン>

- ・人が集まりやすいカトリック教会や自動車を運転する人が増えたため警察署、県税事務所に置いてはどうか。自動車税に関する質問を多く受ける。

<キーパーソン>

- ・教会の牧師やモスクのリーダーに配ってもらうのはどうか。技能実習の影響で、イスラム圏のインドネシアやパキスタンの人も増えている。また、生活を始めるにあたって利用の多い外国人向けの不動産屋やカーディーラーに置くのもよい。
- ・商工会議所や中小企業同友会、公民館、図書館、緋の郷も候補。また、中心となって配布してくれる人の名簿を作り、市で管理をする。その方々とよい関係を築くことで、我々キーパーソンと同じような働きが期待できる。
- ・外国人は文化の違いから日本社会で能力を発揮できていないこともある。生活習慣の違いを知ってお互いの理解を深めることで、大人も子どもも能力を発揮しやすい環境を作ることが次のステップとなる。

<キーパーソン>

- ・外国人向けの人材派遣会社に配布することも候補。

<キーパーソン>

- ・配布部数を記録することによって、集まりやすい場所とそうでないところを把握する。

<キーパーソン>

- ・5月13日のペルー映画祭の会場は約700人収容できるため、そこで配布したい。また、他県の人が驚くほど伊勢崎市には外国料理飲食店が多いので、そこにリーフレットを置きたい。
- ・リーフレットをインターナショナルプレスの南米ニュースで共有した。この取り組みについて、みんなすごいと驚いていた。

<事務局>

- ・本日、リーフレットの用意があるので、会議終了後必要部数を持ち帰り、配布をお願いしたい。

(2)「今年度・来年度の活動について」

<事務局>

・「多文化共生キーパーソンからの意見 実施に向けて」の資料を見ていただきたい。事務局としては番号4「外国住民と日本人住民との交流の場を設ける」・番号5「母国語を教える場を設ける」を今年度を実施していきたいと考えている。今年度はこの2つの項目を実施していくことでよろしいか。

<キーパーソン全員>

・よろしい。

<事務局>

・平成30年度と令和元年度に市で開催した、「多文化交流サロン」という事業がある。どちらも12月にクリスマスイベントを実施し、平成30年度は8か国47人、令和元年度は4か国22人が参加した。事務局としては、これをベースにSDGsについての学習会を実施していきたいと考えている。または他のアイデアがあれば伺いたい。

<キーパーソン>

・ベトナムではそもそも食品ロスがないことから、SDGsは浸透していない。それよりも子どもが楽しめる〇×クイズやジェンガ、食事会がいいのでは。
・実施時期については、10月くらいがいいのでは。寒いと外国人は外出したがる。

<キーパーソン>

・外国人が日本の祭りに参加できる機会があまりないと感じる。多文化共生神輿と称して、国籍問わずみんなで神輿を担ぐイベントをすることで、外国人が街の行事に参加しやすい環境を作り出すことが重要。南米にも神様を担ぐ文化がある。
・賞を設けて競い合えるカラオケ大会やダンス大会がいいのでは。日本のような先進国では知っているかもしれないが、ペルーではSDGsは浸透していない。
・2022年のサッカーワールドカップで、日本サポーターが試合後にゴミ拾いをしたことが世界から注目を浴びた。ゴミのマナー大会やスポーツ大会の後にゴミ拾いもよい。
・費用を気にするなら、公園でウォーキングやヨガのイベントが開催されているが、人が多く集まっている。
・時期は10月でよいと思う。群馬県も10月を、ぐんま多文化共生・共創推進月間としている。

<キーパーソン>

・以前、教会でミスワールドを開催し、非常に盛り上がった。女性がメインのショーだが、男性も集まる。

<キーパーソン>

- ・ミスワールドはよかった。似ているもので、民族衣装でファッションショーやダンスはいいかがか。順位をつけるのではなく、伝統を楽しんでもらいたい。
- ・以前、県の協力でベトナムフェスを開催した。出店する飲食店から参加費を徴収することで、予算を抑えることができる。
- ・国際交流サロンのような参加者が40人程度では規模が小さいと感じる。キーパーソンとしての活動は、勉強会ではなく、大きなイベントがしたい。
- ・調理が難しいのであれば、外でキッチンカーが考えられる。

<キーパーソン>

- ・屋台で飲食できるイベントがいい。
- ・ダンスはよいと思う。女性は喜んで参加すると思うし、知っているダンスサークルの子どもたちを呼べる。

<事務局>

- ・イベントの開催でよろしいか。また、場所を決めたい。市の施設では、調理は難しい。

<キーパーソン>

- ・緋の郷で、ファッションショーの開催でよいのでは。子どもも参加できれば、親の来場も見込める。
- ・過去の多文化交流サロンよりも多くの国籍の人を集めたい。

<事務局>

- ・民族衣装のファッションショーやダンス、キッチンカー出店の方向でよいか。素案を会議終了後に送るので、意見を伺いたい。併せて、10月頃の緋の郷等の空き状況を確認する。
- ・次第の2意見交換(2)来年度の活動については、時間の都合上、意見交換できなかったため、次回以降の会議で取り上げることとする。

<キーパーソン全員>

- ・よろしい。

3. 事務連絡

4. 閉 会